



平成 19 年 11 月 14 日 (水) 13 : 40～15 : 20  
練馬区立橋戸小学校 6 年生 73 人 (2 クラス)

(財) 国際青少年育成振興財団 結城友絵

#### タイムテーブル

- 13 : 40～13 : 45 6 年生全体が集まり、留学生の挨拶・自己紹介
- 13 : 45～14 : 20 6 年 1 組が 9 グースに分かれ発表会を行う
- 14 : 30～15 : 20 6 年 2 組が 9 グースに分かれ発表会を行う
- 15 : 20～15 : 30 6 年生全体が集まり、留学生の感想・全体撮影

13 : 40 6 年生全体が集まり留学生  
が挨拶と自己紹介を行った。  
児童からは代表の 2 名が挨拶をした。



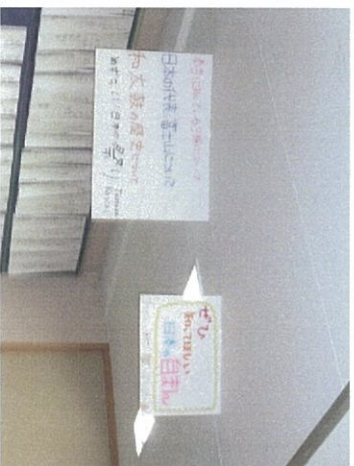
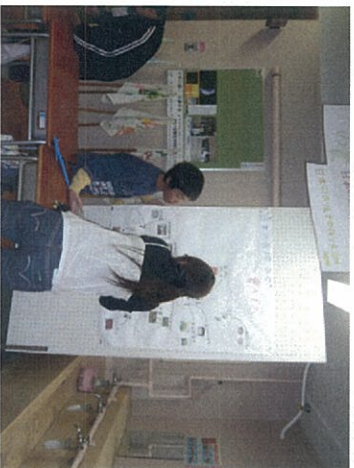
13 : 45～14 : 20

6 年 1 組の児童が 9 グース (1 グース 4～8 人) に分かれ、事前学習の成果を発表していた。

聴衆は留学生だけではなく、6 年 2 組の児童も聴衆  
していた。

自分達で調べたことを模造紙や画用紙に書き、また  
茶道のコーナーでは実際にお茶を点てたりしてい  
た。聴衆者は自分の好きな所に行き、話を聞いたり  
児童達の実技を見たりしていた。





14 : 30～15 : 20

6年2組の児童が9ブースに分かれ、同じく発表した。  
模造紙に書いたり、剣道をやって見せている児童や和太鼓を敲いていた児童も居た。  
その他には折り紙を折ったりあやとりを編んだりしていた。調べた内容の1例としては日  
本の妖怪のことや日本のお金の歴史などがあった。



15 : 25～

6年生全体が集まり、留学生に対するおれの言葉と留学生から感想が述べられた。

留学生はそれぞれのブースで体験した折り紙ややとり、自分で書いた習字などをお土産に貰っていた。

最後に全員で記念写真を撮り、解散した。



担当者所感

財団法人 国際青少年育成振興財団  
事務局 結城

今回の国際理解教室は今まで参加してきたものと趣が異なり、留学生が話すのではなく小学生が自分達で調べたことを発表し留学生に聞いてもらい、質問してもらおう、という趣旨でした。今回の大きなテーマとして「人にきちんとものを伝えられるか＝留学生に日本の良さを伝えられるか」というものがあったようでした。普段はいかに伝えるかなど意識していないと思いますが、このような機会に意識できたのでは、と思います。思わず自分は大丈夫だろうか、と考えてしまいました。まだまだ改善の余地はあると思いますので良くなるようにしたいです。

留学生の感想として「様々な話題があって楽しかった」「自分達が話すのではなく、話を聞くのは新鮮だった」「伝える時は相手の目を見て、アイコンタクトを大切にしたい」「等の意見がありました。後で、留学生の人と話した時に「第二次世界大戦を調べていたグループがあったけど、広島と長崎のことしか言わなかった。限られた情報しか知らないですわ」と言っていたのが印象に残りました。日本に住んでいたらやはり第二次世界大戦と聞いたら広島と長崎の原爆のことばかりですが、外国に住んでいる人から見たら、広島・長崎以外にもっと重大なこともあり、様々な方向からものは見えないといけないのだと、改めて感じました。そして日本の教育の方向はあっているのか、と感じてしまいました。

話は戻りますが、ただ聞くだけのブースよりも実際に体験できるブースの方が人気があったように思います。点ててもらったお茶を飲んだり、折り紙を折ってみたり、将棋に触れてみたり、楽しそうに見えました。そして、自分もきちんと日本のことを知っているのか、疑問に感じました。まだまだ知らないことが多くあるのだと、思い知らされました。